

福島工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	原子力事故総論
科目基礎情報					
科目番号	0083		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	化学・バイオ工学科		対象学年	5	
開設期	集中		週時間数		
教科書/教材	配布資料				
担当教員	鈴木 茂和				
到達目標					
①原子力発電所の安全性について理解できるようにする ②海外における原子力事故について理解できるようにする ③福島第一原子力発電所事故について理解できるようにする					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 (A)					
教育方法等					
概要	海外における原子力関連事故や核物質による環境汚染などを学ぶ。また、海外と福島事故の相違点、類似点を学ぶ。				
授業の進め方・方法	放課後や休日、長期休業中に集中講義形式で実施する。基本的には座学で実施するが、一部e-learning形式での実施や施設見学を実施する場合がある。				
注意点	レポート等を総合的に評価し、60点以上を合格とする。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
後期	3rdQ	1週	原子力発電と原子炉の仕組み	原子力発電と原子炉について	
		2週	原子力と放射線, 放射能	原子や原子核の構造, 放射性同位体, 放射線の性質, 化学反応と核反応の違い, 被ばく	
		3週	原子力発電所の安全性	原子力発電所の安全性	
		4週	原子力事故の原因と結果	炉心溶融, 水素爆発・水蒸気爆発, 冷却材損失事故, 人為的ミス, 臨界事故, 停電	
		5週	海外の原子力事故 (1)	海外における原子力事故	
		6週	海外の原子力事故 (2)	海外における原子力事故	
		7週	日本の原子力事故 (1)	日本における原子力事故	
		8週	日本の原子力事故 (2)	日本における原子力事故	
	4thQ	9週	核施設での事故	ハンフォードサイト	
		10週	福島第一原子力発電所事故概要と新規制基準	福島第一原子力発電所事故と新規制基準	
		11週	汚染水処理について	福島第一原子力発電所での汚染水処理について	
		12週	原子力事故からの環境回復	除染と中間貯蔵施設	
		13週	放射性廃棄物処理処分	放射性廃棄物の処理処分について	
		14週	廃炉に向けた技術開発	内部調査, 燃料デブリ取り出し, 使用済み燃料保管, 廃棄物処理	
		15週	まとめ	原子力事故に関する討論	
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合							
	試験	レポート等	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	100	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0